



## 生後6か月以上の子ども対象のCOVID-19ワクチン接種

### 親・保護者の方からのよくあるご質問

ワクチン接種は常に無料です。あなたもお子様も滞在資格について質問されることはありません。ワクチン接種会場を見つけるには、[VaccinateLACounty.com](https://www.vaccinate.lacounty.gov) または [Vacunatelosangeles.com](https://www.vacunatelosangeles.com) (スペイン語) をご覧ください。

#### なぜ私の子供はCOVID-19のワクチン接種を受ける必要があるのですか？

COVID-19ワクチン接種は、お子様を新型コロナウイルスから守る最善の方法です。また、ワクチン接種を受けることで感染症による長期的な合併症の予防にもなります。

子供は新型コロナウイルスに感染しても軽い症状で済むことが多いようですが、重症化してしまうこともあります。新型コロナウイルスは、これまで1,900人以上の子どもたちに**死**をもたらしました。最初は軽症でも数週間後に「小児多系統炎症性症候群」(MIS-C)を発症する子供もいます。これは、心臓、肺、腎臓、脳、皮膚、目、胃腸器官など、体のさまざまな部分に炎症が起こる病気です。

大人と同様に、感染した子供の中には、たとえ症状が軽かった場合でも、ポストコロナ症候群、または「コロナ後遺症」と呼ばれる症状が残る場合もあります。コロナ後遺症の子供には、倦怠感、頭痛、集中力の低下などの症状が現れます。この症状は、新型コロナウイルス感染後、数週間から数か月続くことがあります。様々な研究の結果、「コロナ後遺症」はワクチン未接種の子供によく見られるということが判明しています。

基礎疾患を持たない健康な子供でも、入院したり、心身の健康や生活に支障を与える長期的な後遺症を引き起こしてしまう場合もあります。ブースターワクチンなど、現時点で接種可能なワクチンを全て受けることによりこれらの合併症のリスクが軽減されます。

### 受けるワクチンの種類と時期

#### 私の子供はどのCOVID-19ワクチン接種を受けることができますか？

COVID-19ワクチンは、生後6ヶ月以上のお子様への接種が推奨されています。お子様の年齢に応じて、認可または承認されたCOVID-19ワクチンならどれでも接種することができます：

- 生後6ヶ月以上のお子様は、PfizerまたはModernaのワクチンを接種することができます。
- 12歳以上のお子様であれば、Novavaxのワクチンを接種することができます。

ワクチンの接種量は、お子様の体格や体重ではなく、ワクチン接種時の年齢を基準にしています。十分な免疫反応を得るために必要な量だからです。12歳以上のお子様は、ティーンズや大人と同じ接種量のワクチンを受けます。

接種回数や接種間隔はお子様を受けたワクチンの種類、年齢および**免疫不全症**の有無により異なります。

子供に推奨されているワクチンの詳細は[ph.lacounty.gov/covidvaccineschedules](https://ph.lacounty.gov/covidvaccineschedules) をご覧ください。[Pfizer](https://www.pfizer.com)、[Moderna](https://www.moderna.com)、[Novavax](https://www.novavax.com) の各ワクチンに関する情報は、FDAの被接種者と保護者向けのファクトシートをご覧ください。質問がある場合はかかりつけ医にご相談ください。



## 生後6か月以上の子ども対象のCOVID-19ワクチン接種

### 親・保護者の方からのよくあるご質問

スケジュールでは、2回目のワクチンは1回目の接種から8週間後までに接種することになっています。2回目の接種時期はどうやって決めれば良いのでしょうか？

推奨されている2回目のCOVID-19初回接種の時期はそれぞれのお子様の状況によって異なります。

- 中等度から重度の免疫不全症を持つ子供には、1回目接種から3週間（PfizerまたはNovavax）または4週間（Moderna）が推奨されます。市中感染レベルが高い、または本人の重症化リスクが高い場合など、最大限の予防効果をすぐに必要とする状況などにも推奨されます。
- 一部の子供、特に思春期・若年成人男子（12～39歳）には、1回目接種から8週間が最適かもしれません。これは1回目と2回目の接種間隔が長いほど、ワクチンの効果を高めることができる可能性があるためです。さらに、すでに稀な心筋炎と心膜炎(心臓病)のリスクの軽減にも繋がると考えられています。

### 新型コロナワクチンの従来(1価)と改良型(2価)ワクチンの違いは何ですか？

1価ワクチンは新型コロナウイルス感染症の原因となる従来のウイルスを標的とします。新型コロナウイルスの従来株だけでなく、オミクロン株の亜種 BA. 4 と BA. 5 にも対応できるようにワクチンが改良されたのです。

- **初回接種** - 1価ワクチンは一部例外を除き、すべてのワクチンの初回接種として使用されています。2価ワクチンは、生後6ヶ月から4歳までの乳幼児を対象としたPfizerの初回接種で、3回目接種として使用されています。
- **ブースター接種** - PfizerとModernaのブースター接種はすべて2価(改良型)ワクチンです。Novavaxのブースター接種は1価ワクチンとなっています。

### 私の子供はブースター接種を受けるべきですか？

はい。改良版ブースターワクチンは一部例外を除き、生後6ヶ月以上のすべての人に推奨されています。

Pfizerの初回接種を完了している、生後6ヶ月から4歳までの乳幼児は、現在ブースター接種の対象となっていません。

改良版ブースターワクチンは時間の経過と共に薄れてきたCOVID-19に対する免疫力を再度高めてくれると同時に新しい変異株に対しても、より幅広く効果を発揮します。PfizerやModernaの従来(1価)ブースターワクチンが使用されることはもうありません。

改良版ブースター接種は最後に受けたCOVID-19ワクチン（最終初回接種か最後に受けたブースター接種）から少なくとも2ヶ月経過してから受けることが推奨されています。過去に受けたブースターワクチンの回数や種類は関係ありません。11歳未満の子供にはティーンエイジャーや大人に比べ、少ない量の改良版ブースターワクチンが投与されます。

#### 5歳以上

- Modernaの初回接種を完了した5歳の子供はPfizerまたはModernaの改良版ブースター接種を受けることができます。
- Pfizerの初回接種を完了した5歳の子供はPfizerの改良版ブースター接種を受けることができます。
- 6歳以上のすべての人はPfizerまたはModernaのどちらかの改良版ブースター接種を受けることがで



## 生後6か月以上の子どもの対象のCOVID-19ワクチン接種

### 親・保護者の方からのよくあるご質問

きます。

生後6ヶ月から4歳まで

- Modernaの初回接種を完了した子供はModernaの改良型ブースター接種を受けることができます。
- Pfizerの初回接種を完了した子供は、現在ブースターワクチン接種の対象になっていません。注：この年齢層を対象としたPfizerの初回接種に2価(改良版)ワクチンが3回目接種として使用されます。

CDCのインタラクティブなツール、「[ブースター接種を受ける時期について](#)」をご覧ください。お子様がCOVID-19のブースター接種を1回かそれ以上受けられるかを判断することが出来ます。質問がある場合はかかりつけ医にご相談ください。

#### 子供がすでに新型コロナウイルスに感染したことがある場合でもブースター接種を受けるべきでしょうか？

はい。COVID-19に感染したことがある場合でも、現時点で接種可能なCOVID-19のワクチンを全て済ませる必要があります。ワクチンによって、感染予防効果をさらに高めることができます。

COVID-19に感染した後はCOVID-19感染症からある程度の保護（「自然免疫」と呼ばれる）を得ることができます。しかし、保護のレベルは、症状の程度、感染から経過した時間の長さ、及びお子様の年齢によって異なります。現在、その個人が感染から保護されているかどうかを正確に示すことのできる検査はありません。2022年7月に発表された[研究](#)では過去に新型コロナウイルスに感染していた人々がワクチン接種を受けたときに強い免疫反応が得ることに成功し、ワクチン未接種の人と比べて、新型コロナウイルスの感染からかなり優れた予防効果を得ていることが明らかになりました。

お子様が最近まで新型コロナウイルスに感染していた場合、COVID-19ワクチンやブースター接種の開始や継続を、お子様が最初にCOVID-19に感染してから3か月間待つことを検討できます。これは、感染後最初の3か月以内は、COVID-19に再感染する可能性が低いからです。また、感染してからワクチンを接種するまでの間隔が長ければ長いほど、免疫応答が強化される場合があるためです。ただし、3ヶ月以上先延ばしにすることはお勧めできません。早めにワクチン接種を受けても問題はありません。お子様が現在COVID-19に感染している場合は、少なくとも隔離期間が終了するまではワクチン接種を待ってください。これは、ワクチン接種を受けに行く際に、医療従事者や他の人に感染させないようにするためです。

お子様が小児多系統炎症性症候群（MIS-C）を過去に発症した場合、推奨されている COVID-19 ワクチン接種の時期について、かかりつけの医師にご相談ください。

## COVID-19 ワクチン接種の安全性

#### 子供がワクチン接種を受けても安全ですか？

はい。子供が COVID-19 ワクチン接種を受けても大丈夫です。子供に対して COVID-19 ワクチン接種を推奨する前に、ワクチン接種がこの年齢層に安全で効果的であることを確認するために何千人もの子供たちを対象に臨床試験が実施されています。



## 生後6か月以上の子ども対象のCOVID-19ワクチン接種

### 親・保護者の方からのよくあるご質問

これまでに5歳から17歳までの[数千万人に及ぶ子供たちや十代の青少年](#)が、少なくとも1回のCOVID-19ワクチン接種を受けています。継続的な安全性の監視により、子供と青少年に対するCOVID-19ワクチンの安全性が引き続き確認されています。

副反応は軽度で一時的なものであり、他の定期接種後に経験するものと同様です。子供のCOVID-19ワクチン接種後の[重篤な副反応](#)はまれで、通常ワクチン接種後数日以内に発症します。

#### 心筋炎と心膜炎

稀ではありますが、Pfizer、Moderna、NovavaxのCOVID-19ワクチン接種後、心筋炎（心臓の筋肉の炎症）および心膜炎（心臓の外膜の炎症）の症例が報告されています。多くの場合、2回目のワクチン接種後の12歳～39歳の男性に見られます。これらの稀な症状が発生するリスクは、1回目と2回目の接種間隔を長く（8週間）空けることにより減少する場合があります。

CDCの2022年9月の[報告](#)では、生後6ヶ月から5歳までの小児にCOVID-19のワクチンを接種しても心筋炎のリスクの増加は見られないことが明らかになりました。

5歳以上の人々を対象とした[研究](#)では、COVID-19感染後の方が、PfizerまたはModernaのワクチン接種を受けた後よりも、心筋炎などの心臓合併症のリスクが高いことが分かっています。これは、男女両方に見られました。ワクチン接種後に発症する心筋炎は軽症であり、他の原因による心筋炎ほど長くは継続しないことを知っておくことも重要です。ワクチン接種後に心筋炎または心膜炎を発症した人の多くは、投薬と休息により改善しています。

お子様が胸の痛み、息切れ、心拍数の増加や心臓の粗動、または動悸を感じる場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

詳細については、CDCのウェブページ「[mRNA COVID-19ワクチン接種後の心筋炎及び心膜炎](#)」を参照してください。

#### アナフィラキシー

アナフィラキシーは、いかなるワクチンでも接種後に発症する可能性のある深刻なアレルギー反応です。そのほかにも、それほど重症ではないその他のアレルギー反応も起こる場合があります。お子様がワクチン接種会場を離れた後に重度のアレルギー反応を起こしていると思われる場合は、911に電話してください。詳細については、CDCの[COVID-19 ワクチン接種後のアレルギー反応](#)のウェブページをご覧ください。

CDCは、生後6か月以上のすべての人に[COVID-19ワクチン接種](#)を推奨しています。入院、長期的な健康問題、死亡などのCOVID-19感染症による既知のリスクは、ワクチン接種に対して稀な有害反応を起こす潜在的なリスクを上回ります。

#### 子供にはどのような副反応が見られますか？

子供のCOVID-19ワクチンの副反応は成人と類似したものです。子供の副反応は定期予防接種と似たようなもので、2回目接種の後に、より一般的に報告されています。ブースターワクチンの副反応は、初回接種の副反応と同様またはそれより軽い傾向があります。

一般的な副反応には、ワクチンを受けた腕や太ももの痛み、腫れや赤み、筋肉や関節の痛み、リンパ腺の腫れ、発熱、悪寒、頭痛、イライラしたりよく泣いたりする、疲労感、眠気、食欲不振などがあります。



## 生後6か月以上の子ども対象のCOVID-19ワクチン接種

### 親・保護者の方からのよくあるご質問

これらの副反応は、生活に多少影響してくるかもしれませんが、数日以内には改善するはずで、すべての人に副反応が出るわけではありません。副反応は正常な反応であり、体が免疫力を高めていることを示しています。

#### 子供がCOVID-19ワクチンからCOVID-19に感染することはありますか？

いいえ。お子様がワクチン接種によりCOVID-19に感染することはありません。あり得ません。米国で使用されているCOVID-19ワクチンには、COVID-19を引き起こすウイルスは一切含まれていません。

#### 子供はCOVID-19と他の予防接種を同時に受けても安全ですか？

はい。生後6か月以上のお子様は、インフルエンザ、MMR（はしか、おたふく風邪、風疹）、Tdap（破傷風、ジフテリア、百日咳）などの他の定期予防接種と同時にCOVID-19ワクチンの接種を受けることができます。COVID-19ワクチン接種場でお子様が必要な他のワクチンが提供されていない場合、いつでも別の場所でその他のワクチン接種を受けても問題ありません。ワクチン接種の間隔を空ける必要はありません。

#### アレルギーのある子供はCOVID-19ワクチン接種を受けることができますか？

お子様のアレルギーの種類によります。

- 経口薬、食品（卵を含む）、ラテックス、ペット、花粉などにアレルギーのある人、またはアレルギーの家族歴がある子供は、ワクチン接種を受けることができます。ワクチンには、食品タンパク質（卵やナッツ製品など）、ゼラチン、ラテックス、抗生物質、金属、または防腐剤（チメロサルや水銀など）は含まれていません。COVID-19ワクチンに含まれている成分と含まれていない成分について詳しくは、[こちら](#)をご覧ください。
- お子様（重篤でなくとも）ワクチンまたは注射療法に対してアレルギー反応を起こしたことがある場合は、医師に相談して、ワクチン接種を受けても安全かどうかを判断する必要があります。
- ポリエチレングリコール（PEG）にアレルギーがある方は、PfizerやModernaのワクチンの接種を受けしないでください。ポリソルベートにアレルギーがある方はNovavaxのワクチン接種を受けしないでください。

アレルギー反応に関する情報は変更される場合があります。CDCのウェブページ、[「COVID-19ワクチン接種を受ける」](#)や[「COVID-19ワクチン接種後のアレルギー反応」](#)から最新のガイダンスを確認し、医師にご相談ください。

#### ワクチンは不妊症を引き起こしますか？

いいえ、ワクチンは不妊症の原因にはなりません。COVID-19ワクチンを含むどのワクチンも女性または男性に不妊の問題を引き起こすという証拠はありません。さらに、mRNAを含むワクチン成分、またはCOVID-19ワクチン接種後に産生された抗体が、（現在または将来）妊娠に問題を引き起こすという証拠はありません。研究によると、ワクチン接種を受けた男女とワクチン未接種の男女の妊娠成功率に差異は見られていません。ワクチンは人のDNAを変化させることはありません。また青年期の発達に影響を与えるという証拠もありません。詳細については、CDCのウェブページ、[「妊娠を希望されている方へのCOVID-19ワクチン」](#)のウェブページをご覧ください。

#### COVID-19ワクチンは子供の月経に影響を及ぼしますか？

一部の人は、ワクチン接種後の生理の変化を報告しています。これには、より多い出血や酷い生理痛など



## 生後6か月以上の子ども対象のCOVID-19ワクチン接種

### 親・保護者の方からのよくあるご質問

が含まれます。最近の2つの研究では、COVID-19ワクチン接種後の一般的ではありますが軽微な変化が示されました。これには、月経周期の長さおよび間隔の変化、ならびに通常よりも多い出血が含まれています。これらの変更は一時的なものです。

ストレスや睡眠、食事、運動、一部の薬など、多くの原因が月経周期の変化を引き起こす可能性があることを認識しておくことが重要です。生理不順は10代の若者の間では非常に一般的であり、特定の原因が全くない場合もあります。お子様の月経について懸念がある場合は、医師に相談してください。

#### COVID-19ワクチンは子供に長期的な副反応を引き起こす可能性がありますか？

いいえ。これまで何十億人もの人々がCOVID-19ワクチン接種を受けていますが、予期しない長期的な影響は見られていません。その他のワクチンから分かっていることは、稀な副反応が発生する場合、通常ワクチン接種を受けてから6週間以内に発生するということです。このためFDAは、ワクチンの使用を認可する前に各種類のCOVID-19ワクチンの接種を最後に受けてから少なくとも8週間追従して研究することを義務付けています。

それに対して、COVID-19の原因となるウイルスは子供に様々な長期的な影響を及ぼすことがわかっています。例えば、疲労感、不眠、頭痛、息切れなどの症状を、COVID-19に感染してから何か月後までも継続して経験する人がいますが、これらの症状は、コロナ後遺症と呼ばれています。さらに、多系統炎症性症候群と呼ばれる重篤な状態は、小児 (MIS-C)と成人(MIS-A)に影響を与える場合があります。MISは、心臓、肺、腎臓、脳、皮膚、目、胃腸器官など、さまざまな体の部分が炎症を起こす、COVID-19に関連し、稀ではありますが、深刻な状態です。患者の多くは入院する必要があり、残念なことに、亡くなる方もいらっしゃいます。COVID-19ワクチンはこれらのウイルスの「長期」の影響に対する保護を提供します。詳細はCDCのウェブページ、COVID-19ワクチンの安全性をご覧ください。

#### 子供がワクチン接種後に有害事象（副反応疑い）が発生した場合、どのように報告すればよいですか？

ワクチン接種後にお子様有害事象が現れた場合は、医師に相談し、副反応についてワクチン有害事象報告システム(またはVAERS)に報告してください。ワクチンが原因であるかどうか分からない場合でも、報告を行ってください。VAERSは、FDAとCDCが発生しうるワクチンの安全上の問題を検出するために使用している早期警告システムです。報告する場合は、1-800-822-7967に電話するか、<https://vaers.hhs.gov/reportevent.html>にアクセスしてください。

スマートフォンをお持ちの場合は、お子様をV-Safeに登録することで、CDCがワクチンを監視できるようになります。V-safeはスマートフォン用のツールで、ワクチン接種後にお子様の健康状態を確認するテキストメッセージが送信されます。お子様一人一人が別々に登録してください。すべてのv-safeのテキストメッセージは、親または保護者のスマートフォンに送信されます。

VAERS、及びV-safeは医学的アドバイスを提供していません。COVID-19ワクチン接種後に懸念される症状や健康上の問題がある場合は、医師に相談するか、治療を受けるようにしてください。

## 子供にワクチン接種を受けさせる

#### 子供はどこでワクチン接種を受けることができますか？

ワクチン接種は、ロサンゼルス郡の数百箇所で受けることができます。これには、小児科医院、診療所、



## 生後6か月以上の子ども対象のCOVID-19ワクチン接種

### 親・保護者の方からのよくあるご質問

薬局、学校、特別なCOVID-19ワクチン接種会場、およびポップアップサイトが含まれます。大半の場所で予約は不必要です。

ワクチン訪問接種は、寝たきりなどで外出が困難な方がご利用できます。

[ph.lacounty.gov/howtogetvaccinated](https://ph.lacounty.gov/howtogetvaccinated)にアクセスし、詳細をご覧ください。もしくは、ワクチンコールセンター（833-540-0473、年中無休 8AM ~ 8:30PM）にお電話してください。そこでは、ワクチン接種場所への無料の交通手段を手配するサービスを提供しています。必ずお子様の年齢に適したワクチンを提供している場所を選択してください。多くの薬局は3歳以下の子供に対してワクチンを提供していません。

#### COVID-19ワクチン接種は無料ですか？

はい、COVID-19ワクチン接種は生後6か月以上のすべての人に無料で提供されています。米国に在住する対象となる全ての方々は健康保険や滞在資格に関わらず、COVID-19ワクチン接種を引き続き受けることができます。ワクチン接種会場でああなたの健康保険証の提示を求められる場合がありますが、子供がワクチン接種を受けるために保険証は必要ありません。

#### 子供のデジタルワクチン接種記録を取得するにはどうすればよいですか？

お子様がカリフォルニア州でワクチン接種を受けた場合は、白いワクチン接種記録カードを受け取ります。また、[myvaccinerecord.cdph.ca.gov](https://myvaccinerecord.cdph.ca.gov)からデジタルCOVID-19ワクチン接種記録をリクエストすることもできます。これは公式記録です。Androidの携帯電話ではGoogle Pay、iPhoneではApple Healthのアプリにダウンロードできます。ワクチン接種を受けたときと同じメールアドレスや携帯電話番号を使用している場合、家族の一人一人の記録を取得できます。詳細については、[ワクチン接種記録](#)のウェブページをご覧ください。

#### 子供がワクチン接種を受けるために同意書を提出する必要がありますか？

18歳未満の青少年がワクチン接種を受けるには、親/保護者または介護者からの同意書が必要です。あなたが接種会場に同伴できない場合は、電話、ビデオ、または書面で同意する旨を伝えることが許可される場合があります。行く予定の場所の同意要件をご確認ください。公衆衛生局が運営する接種会場の場合は、要件を確認し、[ph.lacounty.gov/vaccineappointment](https://ph.lacounty.gov/vaccineappointment)から同意書をダウンロードすることができます。「[接種会場へ行く準備](#)」をクリックするか、ワクチンコールセンター（833-540-0473、年中無休 8AM ~ 8:30PM）にお電話ください。

一部例外があります。自立している15歳以上の未成年者（例：法的に独立している、または自立をしている未成年者、既婚者、または結婚歴のある未成年者）は、自己同意書を提出することができます。あなたが里親、親類縁者、または短期住宅治療プログラム（STRTP）のスタッフである場合、里子が同意する場合に限り、同意書を提供することができます。里子がワクチンを希望しているが里親が同意していない場合、彼らは自分の弁護士に連絡することができます。

#### 子供がワクチン接種を受ける際、どのような書類を持参する必要がありますか？

一部のワクチン接種場所では写真付き身分証明書の提示が求められる場合があります。あなたが里親であり、里子が写真付きの身分証明書を所持していない場合は、弁護士に連絡を取らせてください。もしくは、別の方法として、ロサンゼルス郡公衆衛生局が運営する接種場所に行くことができます。そこでは写真付きの身分証明書は必要ありません。



## 生後6か月以上の子どもの対象のCOVID-19ワクチン接種

### 親・保護者の方からのよくあるご質問

同意については、上記を参照してください。行く予定の場所の要件を確認してください。それらの情報はウェブページまたは予約確認の電子メールまたはテキストに記載されています。ロサンゼルス郡公衆衛生局のワクチン接種会場の要件については、[ph.lacounty.gov/vaccineappointment](https://ph.lacounty.gov/vaccineappointment)のウェブサイトをご覧ください。「[接種会場へ行く準備](#)」をクリックするか、ワクチンコールセンター（1-833-540-0473、年中無休 8AM ~ 8:30PM）にお電話ください。

#### COVID-19ワクチンについて子供にどのように説明したらよいですか？

青少年がCOVID-19ワクチンについての事実を知ることは重要です。インターネットやソーシャルメディアには、COVID-19やワクチンに関する誤った情報がたくさん溢れています。COVID-19についてお子様と話し合い、お子様の持つどんな質問にも答えてあげてください。

COVID-19に感染した場合の健康上のリスクと、ワクチン接種がどのようにお子様を保護してくれるのかを教えてあげてください。ワクチンは安全であり、ワクチンにはウイルスが含まれていないことを説明してください。お子様と一緒に副反応について調べて、それらが正常であることを伝えましょう。

お子様がワクチン接種を受けることに緊張している場合は、気持ちを落ち着かせてあげてください。素直な心で冷静さを保ち、予期すべきことを時間をかけて説明しましょう。簡単な言葉で、少しちくつとするけれどすぐに痛くなくなると伝えましょう。「痛い」や「注射」ではなく「圧迫感」や「ちくつとする」などの言葉を使いましょう。お子様があなたの言葉がわからなくても、あなたの落ち着いた声が励みになるはずです。ワクチン接種前、接種中そして特に接種後は明るくリラックスした状態を保ちましょう。

お子様が針を怖がる場合、CDCの[針や先端恐怖症 - 対処法](#)のウェブページをご覧ください。

公衆衛生局のリソース、「[お子様のCOVID-19ワクチン接種のためのブックレット](#)」は親や保護者がお子様のCOVID-19ワクチン接種を受ける準備や記録方法に役立つように作られていますので、ご利用ください。

#### 子供のCOVID-19ワクチン接種に向けて何を用意したらよいですか？

COVID-19 ワクチン接種を受けることは、他の定期予防接種を受けることと似ています。以下はお子様はCOVID-19 ワクチンを受ける際に、よりスムーズに物事を運ぶためのヒントです。

##### 訪問する前に

- お子様に適切なワクチン接種場を見つける
  - そのワクチン接種場がお子様の年齢層に適切なワクチンを提供しているか確認する。  
多くの薬局は3歳以下の子供に対するワクチンを提供していないのでご注意ください。
  - 同意書や書類の必要性を確認しましょう。要件については、ウェブページや予約確認メールまたはテキストで確認することができます。LA 郡公衆衛生局のワクチン接種会場での要件については、[ph.lacounty.gov/howtogetvaccinated](https://ph.lacounty.gov/howtogetvaccinated) をご覧ください。「[接種会場へ行く準備 \(Preparing for your visit\)](#)」をクリックしてください。
- お子様に配慮が必要な場合はご予約の際にスタッフに伝えましょう（または予約の必要の無い接種場では、到着した時に）。COVID-19ワクチン接種場でサービスアニマルが子供に同伴することは法律で許可されています。[パラトランジットサービス](#)、ワクチン接種場へ無料での移動、または訪問接種の情報が必要な場合、visit [ph.lacounty.gov/howtogetvaccinated](https://ph.lacounty.gov/howtogetvaccinated) をご覧ください。年中無休午前8時から午後8時半まで営業している公衆衛生局ワクチンコールセンター833-540-0473まで電話するこ





## 生後6か月以上の子ども対象のCOVID-19ワクチン接種

### 親・保護者の方からのよくあるご質問

ともできます。詳細は CDC の [障害を持つ子供とティーンエイジャー向け COVID-19 ワクチン接種](#) のウェブページをご覧ください。

- 予約確認に記載されているワクチン情報を読む。質問がある場合はそれを書き留めてください。
- 副反応やその対処法は、公衆衛生局の [COVID-19 ワクチン副反応](#) のウェブページをご覧ください。
- お子様と予期すべきことについて話し合いましょう。上記の [COVID-19 ワクチンについて子供にどのように説明したらよいですか?](#) をご覧ください。

#### お子様のワクチン接種当日

- 副反応を予防するためという理由で、ワクチン接種を受ける前に市販薬（鎮痛剤や抗ヒスタミン薬など）を与えないでください。ただし他の理由でお子様が定期的にその薬を服用している場合は除きます。
- 以前にワクチン接種を受けている場合、お子様の COVID-19 ワクチン接種カードをご持参ください。
- 好きなおもちゃ、毛布、本など、お子様の気持ちを落ち着かせるものをご持参ください。
- フェイスマスクをご持参ください。ワクチン接種場では、スタッフ、あなた、お子様（2歳以上の場合）を含む全ての人々がマスクを着用する必要があります。
- スナックと水をご持参ください。暖かい日に屋外の接種場を訪れる場合、帽子をかぶって薄手の服を着用してください。
- ワクチン接種前、接種中、および接種後にお子様をサポートするヒントを得ておきましょう。
  - 定期予防接種の際に全ての年齢層の子供をサポートするためのヒントは、CDC の [ワクチン接種前、接種中、および接種後](#) のウェブページをご覧ください。
  - 赤ちゃん向けの情報は、CDC の赤ちゃんにとって [ストレスの少ないワクチン接種](#) をのウェブページをご覧ください。これには気を紛らわす方法、授乳、医師に砂糖水を使うよう求めること、鎮痛軟膏、冷却スプレーなどを含みます。
  - 先端恐怖症に対処する情報は、CDC の [針と先端恐怖症](#) のウェブページをご覧ください。

#### ワクチン接種場の訪問時

- お子様を持っているアレルギーについて医療従事者に伝えましょう。
- ワクチン接種時にお子様を座らせるか横にさせましょう。ワクチン接種後に15分間は継続して座ったり横になったままの状態にいるべきです。これは気絶することや、それに関連する怪我を予防するのに役立ちます。 [ワクチン接種時のお子様の抱き方](#) のヒントは、CDC のウェブページをご覧ください。お子様のストレスを軽減するのに役立ち、医療従事者がワクチン接種を行いやすくします。
- お子様の医療従事者に非アスピリン鎮痛剤を使用することのアドバイスを求めましょう。お子様を自宅で休ませるために取るべきその他のステップについて尋ねましょう。
- お子様は COVID-19 ワクチン記録カードを受け取ることを確認しましょう。カードとデジタル記録の情報は、公衆衛生局の [ワクチン記録](#) のウェブページをご覧ください。





## 生後6か月以上の子ども対象のCOVID-19ワクチン接種

### 親・保護者の方からのよくあるご質問

- お子様の次の接種がいつなのか、確認しておきましょう。2回目の接種を受ける最善のタイミングについて医療従事者に尋ねましょう。
- V-safeに登録しましょう。V-safeはテキストメッセージ、および/またはウェブアンケートによって素早く匿名でヘルスチェックを行います。COVID-19ワクチン接種を受けた後にお子様の体調について、素早く簡単にCDCと情報を共有することができます。詳細は[ワクチン接種後のV-safeヘルスチェック](#)のウェブページにアクセスして、[vsafe.cdc.gov](https://vsafe.cdc.gov)から登録してください。

DPHが提供している[お子様のCOVID-19ワクチン小冊子 \(Your Child's COVID-19 Vaccine Booklet\)](#)は、保護者や介護者がお子様のCOVID-19ワクチン接種の準備と記録をするのに役立つように作られています。